

**STAGE+を楽しむ(352)(HP 収載)**  
—ショパンのスケルツォとバラード—

1. 始めに

前報(351)に引き続き、STAGE+のニコラス・エコノムのショパンのスケルツォとバラードの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(351)に引き続きニコラス・エコノムのショパンのスケルツォとバラードの演奏を選びました。

**Chopin: Scherzo No. 2 & 4 Ballades**

演奏:

ニコラス・エコノム (ピアノ)

曲目:

フレデリック・ショパン

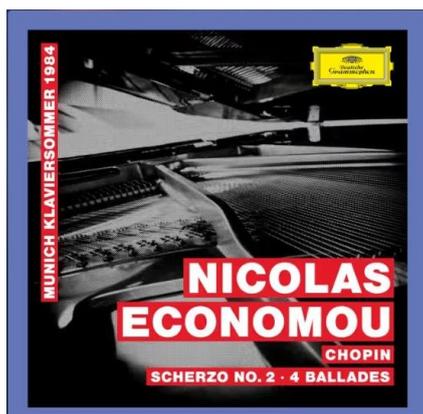
**Scherzo No. 2 in B-Flat Minor, Op. 31**

**Ballade No. 1 in G Minor, Op. 23**

**Ballade No. 2 in F Major, Op. 38**

**Ballade No. 3 in A-Flat Major, Op. 47**

**Ballade No. 4 in F Minor, Op. 52**



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用して

います。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。

ニコラス・エコノムは初めて聴くピアニストで、その才能を惜しまれながら夭逝したため、現代ではあまり聴く機会がありません。本アルバムは 1980 年代の録音と思われます。

Scherzo No. 2 の力強い打鍵で始まり、Ballade No. 1 から Ballade No. 4 まで、抑揚、強弱、緩急自在にバラードの文字通り感傷的で詩情を表現するピアノリズムが展開されています。

#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+に送り出し、PC と Brooklyn DAC+の間には USB アキュライザーに交換した結果、エコノムのショパンが、抑揚、強弱、緩急自在に感傷的な詩情が表現されています。

以上